

# 波野地区の遺跡

文化財保護委員 後藤 新一

今回は波野地区にある遺跡を紹介します。

## ① 糺原・豆札遺跡(阿蘇市波野大字小園)

糺原・豆札台地には、縄文時代晩期の土器や弥生時代の石斧等が出土しています。

## ② 松崎遺跡(波野大字小園)

松崎集落がある台地一帯の畑から、縄文時代晩期から弥生時代の土器片、石斧や石鏃などの石器が採集されています。

## ③ 千部塚遺跡(波野大字小園)

小地野より大分県境の方へ国道57号を約2km行った西側の丘陵地を千部塚と呼んでいます。「塚」と呼ばれていますが、古墳であるかどうか詳細は不明です。縄文時代後・晩期の土器片や石器が採集されています。

## ④ 仁田水遺跡(波野大字中江)

弥生時代の石斧が出土しています。

## ⑤ 上仁田遺跡(波野大字中江)

波野地区の南東部、高森町との境界に近いところにあり、縄文時代前期から後期にかけての土器片が採集されています。

## ⑥ 牛神遺跡(波野大字中江)

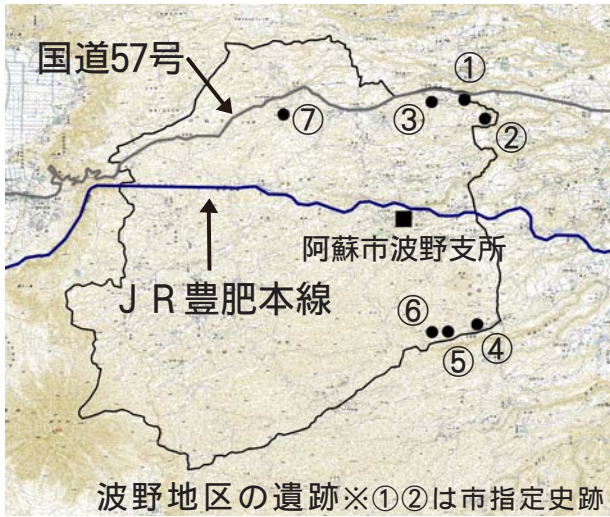
荻岳南西部の丘陵上にあり、縄文時代前期の土器片や石鏃・磨石が出土しています。

## ⑦ 笹倉永迫遺跡(波野大字小地野)

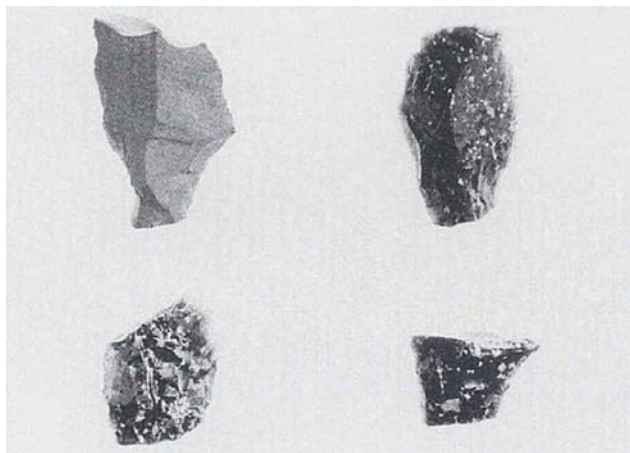
ここは唯一本格的な発掘調査が行われた遺跡です。

広域基幹林道阿蘇東部線の整備事業に伴って調査が行なわれ、今から約2万1千年前の旧石器時代のナイフ形をした石器が発見されました。この調査で波野地区に古くから人々が生活していたことが明らかにされました。

また考古学的調査と並行して地層に含まれる花粉などの植物遺体の分析がなされました。その結果、今から約1万3500年前から現在までスキ属の草原が継続していたことが判明し、阿蘇の草原の起源に迫る大きな発見でした。



波野地区の遺跡※①②は市指定史跡



笹倉永迫遺跡のナイフ形石器

(旧石器時代 約2万1千年前)

『笹倉永迫遺跡』波野村教育委員会2002年より

